

第10回 理工学における同位元素研究発表会

発表申込締切 昭和48年1月31日(水)

関係諸学協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催いたします。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、**同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究**、および**その技術の基礎となる研究**の発表と討論を行ない、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものであります。会員各位におかれては奮ってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

会 期 昭和48年4月17日(火)～19日(木)

会 場 国立教育会館(東京・虎の門)

発表論文

(1) 内容 それぞれの研究分野において、その専門的成果をうるにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。

研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

(2) 発表申込み区分 プログラム編成の便宜上、つぎのように申込み区分を設けます。

- ① 放射線照射のための線源および装置に関するもの
- ② 放射線化学その他照射効果に関するもの
- ③ ラジオグラフィに関するもの(装置に関するものを含む)
- ④ オートラジオグラフィに関するもの
- ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
- ⑥ 放射線利用機器に関するもの(エネルギーの利用、発光塗料なども含む)
- ⑦ トレーサーの利用に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑧ 分析に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑨ 製造、分離、精製に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑩ 化合物の合成、標識化に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの
- ⑫ 安全取扱に関するもの(遮蔽、施設、設備、器具、健康管理なども含む)
- ⑬ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの
- ⑭ 地球科学、宇宙科学およびラジオエコロジーに関

するもの(安定同位元素も含む)

⑮ その他

(3) 発表時間 1件の発表15分以内の予定

発表者の資格 発表申込者が所属する主催学協会の年会(大会)等の規定または慣例に従う。

発表申込み 所定の申込書(1件1通)によりお申込み下さい。所定の申込書は下記あて請求して下さい。

113 東京都文京区本駒込二丁目28番45号

日本アイソトープ協会内

理工学における同位元素研究発表会運営委員会

電話 東京(03)946-7111(代表)

発表申込み締切: 昭和48年1月31日(水) 必着

講演要旨 講演要旨集を発行します。発表申込みがあり次第、**所定の原稿用紙**(1,000字程度)をお送りします。

講演要旨原稿締切: 昭和48年2月28日(水) 必着

そ の 他

(1) この研究発表会の運営は、主催学協会より選出された各1名の委員で構成された運営委員会において行ないます。

(2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。

なお、日本アイソトープ協会の学術機関誌“RADIOISOTOPES”にはこの研究発表会の発表論文にかぎり、同協会会員外でも投稿することができます。

(3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意ください。

i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合。

ii) 発表者の資格が、所属主催学協会の規定または慣例に合致しない場合。

iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合

共同主催者 応用物理学会 化学工学協会 金属表面技術協会 空気調和・衛生工学会 計測自動制御学会 高分子学会 触媒学会 信号保安協会 石油学会 石油技術協会 繊維学会 電気化学協会 電気学会 電子通信学会 土質工学会 土木学会 日本アイソトープ協会 日本医学放射線学会 日本鋳物協会 日本海洋学会 日本化学会 日本機械学会 日本気象学会 日本原子力学会 日本建設機械化協会 日本建築学会 日本鉱業会 日本鉱山地質学会 日本質量分析学会 日本写真学会 日本水産学会 日本地球化学会 日本地質学会 日本鉄鋼協会 日本農芸化学会 日本非破壊検査協会 日本物理学会 日本分析化学会 日本放射線影響学会 日本放射線化学会 日本放射線技術学会 日本保健物理協議会 日本木材学会 日本薬学会 物理探鉱技術協会 溶接学会 (五十音順)